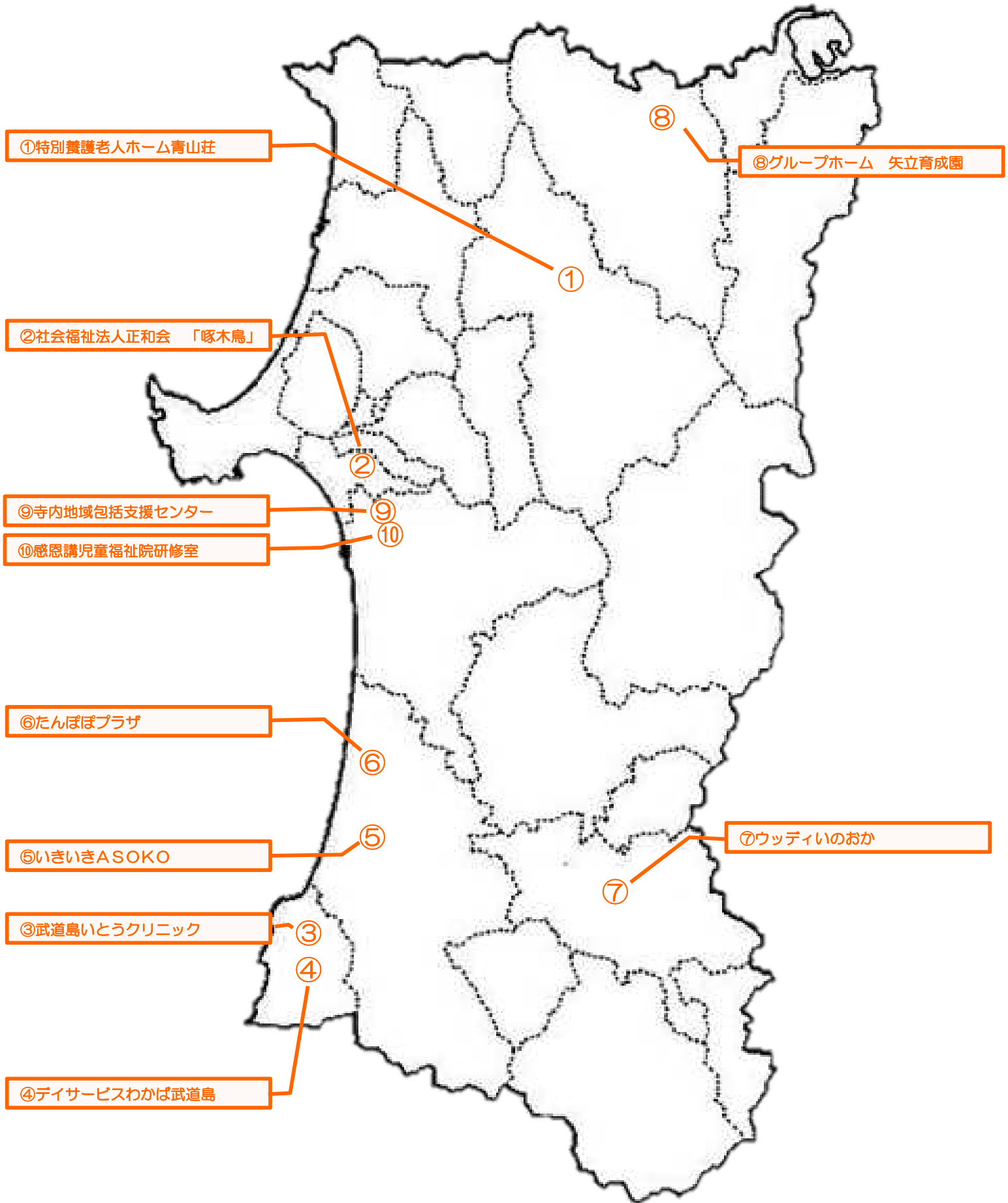


木造施設事例位置図

■福祉・医療施設



① 社会福祉法人芳徳会 特別養護老人ホーム青山荘

施設概要

事業主体：社会福祉法人芳徳会
施設名称：特別養護老人ホーム青山荘
所在地：北秋田市綴子字釜堤脇10番

施設用途：特別養護老人ホーム
用途地域：都市計画区域内
防火地域：一

【外観写真】

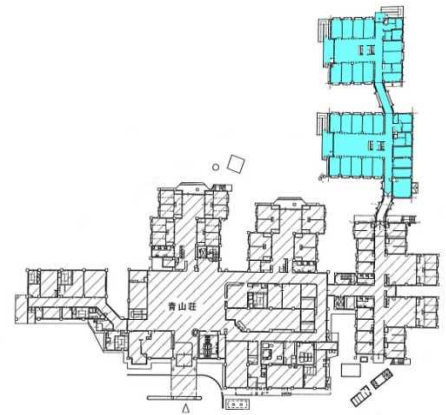


●施設の特徴、内容について

- ①この施設は、明るさと入居者へのやさしさをテーマに運営されており、地域の市町村より注目されている施設であると自負しております。
- ②増築工事であり、本館棟と同じ鉄筋コンクリート造りであるが、仕上げ材に木材を十分に取り入れ木造住宅の雰囲気と計画し、入居者に安心感を与えられる様配慮しました。

●配置計画について

- ①居間、食堂よりの景観を重視し、冬期間の季節風を考えて、配置及び平面計画を行った。
- ②ユニットプランのプライバシーを尊重しながらも、管理、介護しやすい動線とし、本館のユニットとも違和感のない様配慮した。



■建物情報

階数：地上1階
構造：鉄筋コンクリート造
小屋組方式：
敷地面積：12,766.0 m²
建築面積：755.3 m²
延床面積：759.8 m²
最高高さ：6.8 m
最高軒高：4.2 m
最大スパン：6.6 m
耐火・準耐火：耐火建築物

■主要仕上

外部仕上
(屋根) ガラス繊維入りシート防止
(外壁) 吹付タイル
(開口部) アルミサッシ、ペアガラス
(その他)
内部仕上
(床) フローリング 15mm
(壁) 石膏ボード、ビニールクロ貼
(天井) 杉板張り 12mm
(その他) 浴室、磁器タイル

●木材使用について

【使用木材量】

- ①県内産のスギを仕上げ材に使用した。
- ②廊下の天井に木の格子を取付け、暖かさを表現した。
- ③下り壁、ランマやトップライト格子を木材に計画し、木の空間を計画した。
- ④WCの壁に木の合板を張り、家庭の雰囲気強調した。

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	29.86 m ³	29.86 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	6.34 m ³	6.34 m ³	ナラ
その他	m ³	m ³	
計	36.20 m ³	36.20 m ³	



居間入口



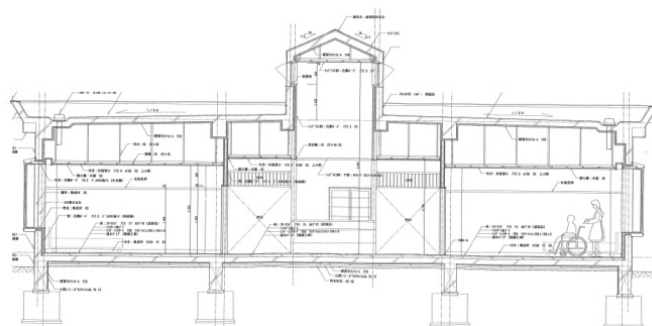
廊下



居間天井

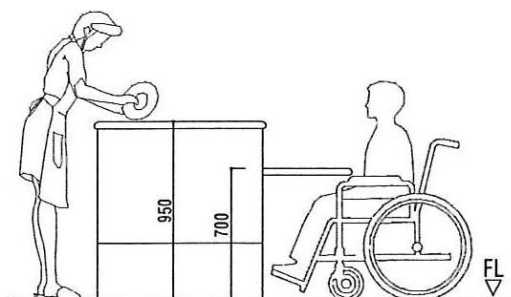
●設計における工夫点等について

- ①多雪地帯であるため、無落雪屋根を取り入れ、落雪等に係るトラブルを解消しました。
- ②冬期間の寒さを考え、床暖房を取り入れ、居室の温度差をなくし、エアコンも取付け、補助暖房と冷房を計画し、入居者の快適性を考慮した。



●その他（特筆される事項）

- ①日常生活の細かい動作や考え方を介護する人と十分に協議・打合せし、機能性の高い安全な建物を設計しました。
- ②建物の換気にも十分配慮して設計し、本館棟と同じ「オゾン」による脱臭装置も考えました。



■事業概要

事業内容：木造公共施設整備、内装木質化整備
発注者：社会福祉法人芳徳会
設計者：小畑・奈良田設計共同企業体
施工者：（建設）株式会社 芳賀工務店
 ：（電気）ヤコム東北エンタープライズ（株）
 ：（機械）ヤコム東北エンタープライズ（株）
木材供給：（スギ構造材） 有限会社山健高橋製材所
 ：（スギ造作材） 鷹巣木材株式会社
 ：（ナラ集成材） 藤島木材工業株式会社

事業名：木造公共施設等整備事業
工期：平成22年7月～平成23年2月
設計費：8,022千円
建設費：（建設）111,834千円
 ：（電気）18,435千円
 ：（機械）41,900千円
 ：（合計）180,192千円
1m²当たり建設費：237千円

② 社会福祉法人正和会 高齢者短期入所生活介護施設「啄木鳥」

施設概要

事業主体：社会福祉法人 正和会
 施設名称：ショートステイ啄木鳥（きつつき）
 所在地：潟上市天王字棒沼台247番地1

施設用途：高齢者福祉施設（ショートステイ）
 用途地域：—
 防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

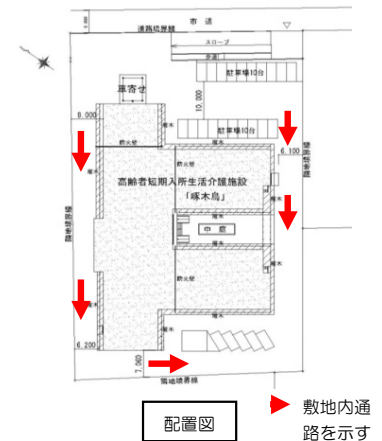
この施設は介護が必要な高齢者の住まいであり、快適な居住空間・環境計画が求められます。
 古くからの日本建築は、開口部を大きく取ること風通りをづくり、庇の出を大きくして壁面の熱遮断など、日本固有の気候風土に最も適した形・機能を持っています。本計画では日本古来の英知を現代に生かし、自然を上手に活用して日本の風土に根ざした「闘わない建築」がテーマです。
 また県産材である秋田スギをふんだんに活用し、入居者の生活環境向上と建物周囲との調和を図り、外部からの訪問客に対して秋田スギの特徴である美しい木目や香り、視覚によるやさらかさや温もりを肌で感じ取れる空間を提供できます。



●配置計画について

- 建物の周囲は6m以上の敷地内通路を確保することで
- ①入居者の安全な避難経路を確保すること。
 - ②緊急車両が周囲を通行できること。
 - ③屋根からの落雪スペースを確保でき、除雪車で排雪できること。
 - ④建物のメンテナンスができること。

が容易に行えます。
 また軒の出を深くして雁木を設置することは落雪による建物への被害の防止と緊急避難時の誘導路となります。
 道路乗り入れから建物までの高低差は車路、歩道共スロープとし車道との境に縁石・手摺を設置し歩行者の安全に配慮しています。



■建物情報

階数：地上1階
 構造：木造平屋建
 小屋組方式：集成材接合
 敷地面積：15,135.51 m²
 建築面積：2,080.80 m²
 延床面積：1,820.67 m²
 最高高さ：7.71m
 最高軒高：5.65 m
 最大スパン：6.82 m
 耐火・準耐火：その他

■主要仕上

外部仕上
 (屋根) カラーガルバリウム鋼板 t=0.4瓦棒葺、横葺
 (外壁) 漆喰塗り
 (開口部) アルミ樹脂複合サッシ
 (その他) 建物軒先：雁木 秋田杉下見板張り
 内部仕上
 (床) コルクタイル張、天然木複合フローリング
 (壁) 秋田杉腰板張り t=12自然塗料塗、ビニルクロス張
 (天井) 秋田杉構造材表し、障子張り、ビニルクロス張
 (その他) 秋田杉構造柱・梁表し

●木材使用について

平成22年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が制定され、公共建築物への木材利用と木材全体の需要を拡大することで森林の適正な整備、地球温暖化防止に貢献することが目標となっています。

この建物は「秋田県林業・木材産業関係施設整備事業」を活用して県産材であるスギ材で地域のシンボルとなる建物を造り、木造建築物の良さを県内外にアピールすることを目的とします。



柱：秋田スギ



玄関ホール



食堂



廊下

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	265.99 m ³	265.99 m ³	
マツ	7.36 m ³	m ³	
ヒノキ	9.19 m ³	9.19 m ³	
ツバキ	33.56 m ³	m ³	
マツ集成材	33.56 m ³	m ³	
スギ	32.42 m ³	32.32 m ³	
針葉樹合板(t=12)	2,235 枚	25.16 m ³	県産スギ含有
針葉樹合板(t=24)	101 枚	3.89 m ³	県産スギ含有
計		26.05 m ³	

●設計における工夫点について

建物は屋根の軒の出を深くし壁面への直射日光を遮光させることで、壁面温度を上げない様になっています。

大屋根は小屋裏空間を大きくし、小屋裏の換気をさせることで屋根からの直接的な熱の伝わりを防ぎます。

内部床は木造床組とし通路となる部分はコルクタイル張りとする事で高齢者の身体への負担を軽減します。

腰壁には県産材である秋田スギを使用して、木目の美しさや香りを、天井は木造建築の小屋組みを表わして木に囲まれた空間を演出します。

またホールや廊下天井には屋根からの光を取り入れ、直射しないように天井障子を入れることで柔らかく暖かな自然光を取り入れています。



●その他（特筆される事項）

本建物は大規模木造建築物であることから1,000m²以内ごとに防火壁の設置を行っています。

また内装制限はスプリンクラー及び排煙設備併用で適用除外し、避難距離など安全を検討してふんだんに木材を利用しています。



■事業概要

事業内容：秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業

発注者：社会福祉法人正和会

設計者：株式会社小野建築研究所

施工者：むつみ建設株式会社

木材供給：株式会社ウッドミル

スギ一般材（備ウッドミル、秋田木材など）

原木供給：秋田県森林組合連合会

事業名：秋田県林業・木材産業関係施設整備事業

工期：平成23年8月～平成24年2月

設計費：15,183千円（税抜）

建設費：365,000千円（税抜）

1m²当たり建設費：200千円

③ 武道島いとうクリニック

施設概要

事業主体： 武道島いとうクリニック
施設名称： 武道島いとうクリニック
所在地： にかほ市象潟町字家ノ後65番10号

施設用途： 診療所
用途地域： 工業区域
防火地域： 法第22条指定区域

【外観写真】



● 施設の特徴、内容について

当施設は象潟町の市街地に立地して、開業してから長年地域に根ざした診療を行ってきました。今回はその診療所の近くに移転建替えとして計画されました。

利用者はお年寄りが多く、滞在時間も長目のため待合室などに配慮がもとめられました。



待合室

■ 建物情報

階数： 地上2階
構造： 木造一部鉄骨造
小屋組方式： 垂木方式
敷地面積： 1157.03 m²
建築面積： 353.31 m²
延床面積： 382.55 m²
最高高さ： 7.146 m
最高軒高： 6.756 m
最大スパン： 4.550 m
耐火・準耐火： その他建築物

■ 主要仕上

外部仕上
(屋根) ガルバリウム T0.35
(外壁) 防火サイディング
(開口部) アルミサッシ
(その他)
内部仕上
(床) ビニールシート一部杉フローリング T12 ウレタン塗装
(壁) クロス貼一部スギ板T10クリアー塗装
(天井) クロス貼一部スギ板T10クリアー塗装一部スギ化粧梁
(その他)

●木材使用について

構造は木造軸組工法、屋根は垂木工法、柱は4寸角で、構造材、羽柄材、共に主に県内産のスギを使用しています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	55.7 m ³	55.7 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	7.0 m ³	m ³	
計	62.7 m ³	55.7 m ³	

●設計における工夫点等について

特に配慮を求められた待合室は、面積、高さ共に大きめのゆったりとしたスペースを確保し、壁内装材にスギ板材を、化粧梁にスギを使用し落ち着きがあり、かつ心安らぐ空間づくりを目指しましたが、施工業者のスギ材の選定への協力等もあり、目指していた空間ができました。院長先生からは「利用者からはとても評判です」とのお言葉をいただいています。



施工中



受付カウンター

■事業概要

事業内容：木造施設整備

発注者：武道島いとうクリニック

設計者：芦野建築設計室

施工者：株式会社 沢木組

：

：

木材供給：（スギ一般材）（有）佐東製材所

（原木供給） サトウ造林（株）

事業名：秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業

工期：平成24年7月～平成24年11月

設計費：3,780千円

建設費：（建設）53,438千円

：（その他）19,537千円

：（合計）72,975千円

1m²当たり：

建設費：191千円

④ デイサービスわかば武道島

施設概要

事業主体：株式会社池田

施設名称：デイサービスわかば武道島

所在地：にかほ市象潟町字家ノ後65番26号

施設用途：高齢者福祉施設（デイサービス）

用途地域：工業地域

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

日常生活に不自由を感じている高齢者や要介護認定等を受けている方がご利用できる通所施設です。

入浴やお食事、レクリエーションなどで一日をゆったりとお過ごしいただけます。

木材利用促進のため、秋田スギをはじめ県産材を多く使用し、県産材の需要拡大に貢献しています。



ダイルーム

■建物情報

階数：地上1階
構造：木造
小屋組方式：在来工法
敷地面積：1,046.49m²
建築面積：406.62m²
延床面積：337.86m²
最高高さ：6.225m
最高軒高：3.450m
最大スパン：5.460m
耐火・準耐火：その他建築物

■主要仕上

外部仕上
（屋根）カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 横葺き
（外壁）デラクリート t=12.5mm ショリパット塗仕上
（開口部）アルミサッシ
（その他）腰壁：スギ板 t=12mm 縦張り オスモカラー仕上
濡れ縁：木材・プラスチック再生複合材 t=30mm
内部仕上
（床）複合フローリング t=13.5mm
（壁）石膏ボード t=12.5mm ビニルクロス貼り
（天井）石膏ボード t=9.5mm ビニルクロス貼り
（その他）天井一部：準不燃スギ板 t=15mm

●木材使用について

構造材（柱等）、造作材（窓枠等）、内装材（天井）として秋田スギを使用。

構造材（梁等）としてベイマツを使用。

構造材（土台）としてベイツガを使用。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	43.0 m ³	43.0 m ³	
マツ	12.7 m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	2.5 m ³	m ³	
計	58.2 m ³	43.0 m ³	

●設計における工夫点等について

施設利用者が使いやすく、開放感がありつつもプライベートな空間を目指しました。

水回りは施設の方と何度も協議を重ね、安全で気持ちよく使用できる寸法を考えました。テイルームは南側に大開口と広縁を設け、庭を囲むように塀を巡らせることで、明るくプライベートな空間を実現できたと考えております。



ぬれ縁



構造部

■事業概要

事業内容：木造施設整備

発注者：株式会社 池田

設計者：（株）ブルーフあいアーキテツ
一級建築事務所PIA

施工者：村岡建設工業株式会社

：

：

木材供給：（スギ一般材）（株）若林木材

（原木供給） 仙北西森林組合

事業名：秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業

工期：平成24年7月～平成24年10月

設計費：3,150千円

建設費：（建設）49,029千円

：（その他）19,011千円

：

：（合計）68,040千円

1m²当たり建設費：201千円

⑤ いきいきASOKO

施設概要

事業主体：社会福祉法人 中央会

施設名称：いきいきASOKO

所在地：由利本荘市大鍬町160番1号

施設用途：デイサービス併設ショートステイ

用途地域：第1種低層住宅地域、第1種住居地域

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

当施設は1階が短期入所生活介護施設（ショートステイ）と認知症通所介護施設（デイサービス）を併設した高齢者介護施設で、2階は事業者の社会貢献事業として地域交流サロン、ボランティア室を設け、地域の高齢者に無料開放しています。中庭には足湯を設けて、利用者間の交流を図っており、また、ショートステイの食堂にはペレットストーブが設置されています。

●配置計画について

建設地は由利本荘市内の閑静な住宅街の中にあるため、規模の大きな建物をどうしたら違和感なく溶け込ませることができるかという点に気を配りました。

また、法的な制約として、外部への木材の使用について制約がありましたが、木材を感じさせる外観となるように留意しました。



■建物情報

階数	数	地上2階
構造	造	木造軸組工法
敷地面積	積	1,223 m ²
建築面積	積	932 m ²
延床面積	積	1,194 m ²
最高高さ	さ	7.4 m
最高軒高	高	9.6 m
耐火・準耐火		準耐火構造

■主要仕上

外部仕上	
(屋根)	ガルバリウム鋼板T.O. 35 防水工法
(外壁)	防火サイディング
(開口部)	アルミ断熱サッシ
(その他)	回廊床 ウッドブロック t=60mm
内部仕上	
(床)	ビニールタイル、一部スギT15フローリング
(壁)	スギ板T10貼り、一部クロス貼
(天井)	石膏ボードT12.5 塗装
(その他)	

● 木材使用について

構造材にスギを使用することで計画しました。構造は在来軸組工法ですが大きな空間を必要とする部屋もあり、柱、梁のサイズが大きくなる箇所はスギの集成材で計画。集成材が目に入らぬ箇所もありますが違和感なく木造建築らしい表現になっています。腰壁や床の仕上材にもスギを使用し、柔らかい暖かな空間となっております。

木材納入製材所の誠意ある対応により、良質で均質な木材が揃ったことでより良い空間に仕上がりました。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	155.37 m ³	155.37 m ³	
集成材(スギ)	24.66 m ³	24.66 m ³	
ベイツガ	6.39 m ³	m ³	土台
計	186.42 m ³	180.03 m ³	



● 設計における工夫点等について

介護の必要な老人が日常生活をおくる場なので住宅の延長にある建物を目指しました。しかし機能として住宅にはない大きな空間が必要であるため、そのギャップをいかに少なくし、心安らぐ部屋を提供できるかを考え、スギをキーポイントに設計しました。

空間全体の中でどの位のバランスで用いれば落ち着きが出るかを考え、柱、梁、スギ張りの壁の位置を計画しました。

● その他

消防設備としてスプリンクラー設備を設置したことにより、建築の内装の制限がなくなり、部屋の仕上材として制約なく木材を使用できました。

■ 事業概要

事業内容：木造公共建築物等の整備

発注者：社会福祉法人 中央会

設計者：芦野建築設計室

施工者：山科建設株式会社

木材供給：有限会社 佐東製材

事業名：木材産業振興臨時対策事業木造公共施設等整備

工期：平成25年9月～平成26年3月

設計費：8,240千円

建設費：221,550千円

1m²当たり建設費：186千円

⑥ ショートステイ・デイサービスセンター たんぽぽプラザ

施設概要

事業主体：有限会社たんぽぽプラザ
施設名称：ショートステイ・デイサービスセンター
たんぽぽプラザ
所在地：由利本荘市岩城赤平宇長ヶ沢18番地1

施設用途：福祉施設
用途地域：—
防火地域：—

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

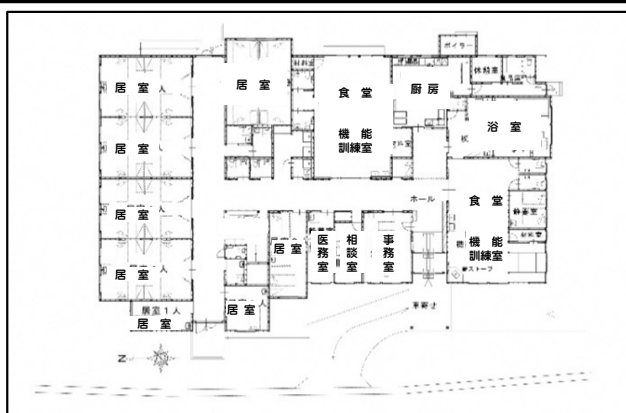
要介護認定等を受けた高齢者が利用できる、ショートステイ24名、デイサービス20名の定員からなる2事業所を併設しています。両施設とも在宅で暮らす方を対象としたサービスであることから、なるべく自宅に近い雰囲気や考慮したこと、地域性を考え周りの景観にあった落ち着いた外観を計画しました。ショートステイでは食堂の共有スペースと居室の距離をとることで、生活のめりはりをつけること、生活動作を多くつくことで高齢者の元気な生活を支援するところを目標としています。デイサービスの食堂機能訓練室には薪ストーブが設置され、暖をとりながらおしゃべりができる暖かくちょうどいい空間がつけられています。

●配置計画について

敷地が不成形で間口が広いので、西側全面道路に横幅が広い配置としています。

玄関を道路側に設置して入居者の利便性を図りながら、車で通る人にアピールする配置計画をしました。

ショートステイとデイサービスのスペースをしっかりと分けることで利用者の方のプライバシーにも考慮しています。



■建物情報

階数：平屋建て
構造：木造（軸組工法）
小屋組方式：集成材接合金物工法
敷地面積：1,684 m²
建築面積：894 m²
延床面積：879 m²
最高高さ：6.5 m
最高軒高：m
最大スパン：6.98 m
耐火・準耐火：準耐火

■主要仕上

外部仕上
（屋根）長尺カラー鉄板 瓦棒葺き
（外壁）防火サイディング張り（塗装品）
（開口部）カラーアルミサッシ
（その他）
内部仕上
（床）フローリングボード張り
（壁）ビニールクロス貼り一部杉板張り
（天井）ビニールクロス張り
（その他）

●木材使用について

木には心が落ち着く温もりがあり、視覚的な癒し効果があります。

木造軸組工法で設計し、構造材等に県産スギ材を使用しております。また、フローリングや造作・腰板等に木材を多用したことから、施設入口から木の温もりが感じられ、他の施設との差別化を図っています。

道路面にある玄関の目隠しのための大きな格子を設置し、木材利用をPRしています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	164 m ³	164 m ³	
マツ	42 m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	m ³	m ³	
計	206 m ³	164 m ³	

【施工中の状況】



●設計における工夫点等について

機能を集約した計画のため、中廊下形式の平面になりましたが、廊下部分にハイサイドライトを設けて、明るい空間をつくることで全面に使用されたフローリングと造作された木目の美しさがわかる設計となっています。

一般住宅を意識した天井高により、家庭的な雰囲気を感じさせる空間構成と効率良い空調の使用による省エネ化を図っています。



食堂・機能訓練室



食堂・機能訓練室



廊下

■事業概要

事業内容：木造公共施設等整備事業
 発注者：有限会社たんぼぼプラザ
 設計者：株式会社小畑設計事務所
 施工者：（建設）大森建設株式会社
 ：（電気）本荘電気工業株式会社
 ：（機械）羽後設備株式会社
 木材供給：（スギ集成材）昭和木材(株) ほか
 （スギ一般材）昭和木材(株) ほか
 （フローリング）藤島林産(株) ほか
 （その他）(株)佐藤工務店 ほか
 （原木供給）(有)加藤林業

事業名：木造公共施設等整備事業
 工期：平成27年6月～平成27年9月
 設計費：4,800千円
 建設費：（建設）124,023千円
 ：（電気）20,859千円
 ：（機械）44,918千円
 ：（合計）189,800千円
 1m²当たり建設費：216千円

⑦ ウッディいのおか

施設概要

事業主体：社会福祉法人慈泉会

施設名称：ウッディいのおか

所在地：横手市猪岡字中猪岡154番地

施設用途：生活介護事業所

用途地域：一

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

知的障害者の通所介護と就労継続支援を行っており、利用者の社会生活の支援・障害福祉サービスの事業所としての機能を持ち、地域福祉の拠点となっています。

建物は県産材である秋田スギをふんだんに使用し、入居者の生活環境向上と建物周囲との調和を図っています。また、訪問される方々にも秋田スギの特徴である美しい木目や香り、視覚による癒しの効果や温もりと柔らかさを肌で感じ取れる施設となっています。

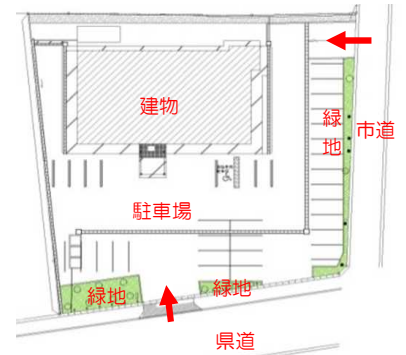
●配置計画について

敷地周囲は、数戸の住宅と田園が広がる自然環境豊かな場所にあります。

全面道路は、横手市街と旧雄物川町を結ぶ県道道路沿いにあり、目に付きやすい場所にあります。

建物は、周囲4m以上確保し、冬期間の除排雪と設備メンテナンスをしやすい配置としており、全面道路側は利用者の駐車スペースを確保し、また地域の交流の場としての活用も可能です。

県道沿いには植栽を配置し、周囲の景観に配慮しています。



■建物情報

階数	数	地上2階
構造	造	木造
小屋組方式	式	軸組工法
敷地面積	積	2,243.25 m ²
建築面積	積	518.69 m ²
延床面積	積	617.85 m ²
最高高さ	さ	10.83 m
最高軒高	高	7.64 m
最大スパン	ン	6.37 m
耐火・準耐火	火	：その他建築物

■主要仕上

外部仕上	
(屋根)	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm (瓦葺、横葺)
(外壁)	珪藻漆喰塗り 秋田スギ下見板張り
(開口部)	アルミ樹脂複合サッシ
(その他)	ガラスロック耐力壁 軸組標準仕様
内部仕上	
(床)	天然木複合フローリング
(壁)	秋田杉腰板張り t=12自然塗料塗、クロス張り、構造材表し
(天井)	秋田杉構造材表し、障子張り、ビニルクロス張、構造材表し
(その他)	

●木材使用について

柱や梁等の構造材のほか、下地材、内装材及び外装材にもふんだんに木材を使用しており、使用した木材全体の8割以上が県内産スギです。

県産材であるスギ材等を活用し、地域のシンボルとなる建物として、木造建築物の良さを地域内外にアピールする施設となっています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	148 m ³	148 m ³	
マツ	18 m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	12 m ³	2. m ³	
計	178 m ³	150 m ³	

●設計における工夫点等について

建物は屋根の軒の出を深くし壁面への直射日光を遮光させることで、壁面温度を上げない様になっています。

大屋根は小屋裏空間を大きくし、小屋裏の換気をさせることで屋根からの直接的な熱の伝わりを防ぎます。

腰壁には県産材である秋田スギを使用して、木目の美しさや視覚的な安らぎを与えています。

冬期間は、床下の換気が困難になることから、床下に竹炭を入れることで、調湿効果による木造躯体の保護をしています。



活動室



生活訓練室



小屋裏



床下

●その他

建物計画について、建物中心にホールを配置し、各部屋への動線を単純化しています。

また、建物の形状を生かし吹抜け空間を設け、構造体の木組を表し2階からも見られるようにした。



■事業概要

事業内容：木造公共施設等整備

発注者：社会福祉法人慈泉会

設計者：株式会社小野建築研究所

施工者：創和建设株式会社

事業名：木材産業振興臨時対策事業

工期：平成27年6月～平成27年12月

設計費：7,884千円

建設費：(建設) 101,832千円

：(電気) 15,311千円

：(機械) 33,811千円

：(合計) 158,838千円

1m²当たり建設費：307千円

木材供給：(スギ集成材) 株式会社高英
 (スギ一般材) 株式会社ウッド・ミル
 (フローリング) 株式会社ノダ
 (原木供給) 仙北西森林組合

⑧ グループホーム 矢立育成園

施設概要

事業主体：社会福祉法人 大館圏域ふくし会
 施設名称：グループホーム しらさわB
 所在地：大館市白沢字白沢369-2

施設用途：寄宿舎
 用途地域：一
 防火地域：一

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

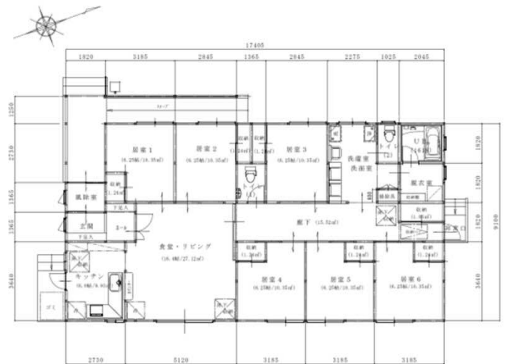
本施設は、障害を持つ方々が共同生活住居において、家庭的な環境の基に地域で日常生活を送り、入居者が個々の能力に応じ自立した生活を営むよう支援する障害者グループホーム施設として、平成29年度に建築（新築移転）されました。

既存施設では老朽化のほか、消防法改正による消防設備改善の必要がありました。今回の新築移転により、住設機器の充実や利用者の生活快適性に配慮した建物となりました。

構造材にスギとカラマツの異樹種複合集成材である「ハイブリッド集成材」を用いて県産材の利用を図ったほか、内装材にも県産木材を使用し、利用者含め利用者家族や施設見学者等の施設を訪れる方が木材を身近に感じられるように配慮しています。

●配置計画について

隣接敷地内に同ユニット施設2棟を並列に配置しています。
 食堂・リビングを建物中心に配置し利用者ひとりひとりの表情がみえるように配慮した動線としました。



■建物情報

階数：地上1階
 構造：木造
 小屋組方式：木造在来工法
 敷地面積：389.18㎡
 建築面積：168.19㎡
 延床面積：153.41㎡
 最高高さ：5.73 m
 最高軒高：3.82 m
 最大スパン：その他
 耐火・準耐火：地上1階

■主要仕上

外部仕上
 (屋根) 長尺カラー-SGL鋼板(表面処理メッキ鋼板)
 (外壁) 金属サイディング t15
 (開口部) アルミ樹脂サッシ (Low-E複層ガラス)
 内部仕上
 (床) フローリングφ15
 (壁) PBφ12.5ビニルクロス、塗布型漆喰塗材仕上
 腰:杉羽目板t10
 (天井) PBφ9.5ビニルクロス、ロックウール吸音板 t9.5
 (屋根) 長尺カラー-SGL鋼板(表面処理メッキ鋼板)

● 木材使用について

梁材には、新たな木質部材であるスギとカラマツのハイブリッド集成材を使用しました。

また、柱材には地元で加工されたスギ集成材を、その他構造材にも県産木材を使用しています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	27.57 m ³	27.57 m ³	
ハイブリッド集成材	5.61 m ³	5.61 m ³	
その他	7.65 m ³	m ³	
計	40.83 m ³	33.18 m ³	



軸組



居室

● 設計における工夫点等について

中廊下は採光・換気を取り入れるために吹き抜けとすることで、明るく開放的な空間となりました。保利用者の高齢化に備え、各所でバリアフリー化しています。



■ 事業概要

事業内容	： 木造施設整備	事業名	： 新たな木質部材等需要創出先導事業
発注者	： 社会福祉法人 大館圏域ふくし会	工期	： 平成30年10月～平成31年2月
設計者	： 株式会社 恒谷汲川建築設計事務所	設計費	： 1,217千円
施工者	： (建設) 花岡土建株式会社	建設費	： (建設) 28,207千円
	： (電気) 有限会社藤電気工業		： (電気) 5,796千円
	： (機械) 株式会社巽工業所		： (機械) 5,665千円
木材供給	： (スギ集成材) 昭和木材株式会社東北支店 秋田県北木材センター		： (合計) 39,669千円
	： (HB集成材) 株式会社宮盛	1m ² 当たり建設費	： 226千円

施設概要

事業主体：秋田県厚生協会
 施設名称：寺内地域包括支援センター 寿光園・寿光園居宅介護支援事業所
 所在地：秋田市寺内字後城6-41

施設用途：包括・居宅介護支援事業所兼事務所
 用途地域：市街化区域
 防火地域：第1種住居区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

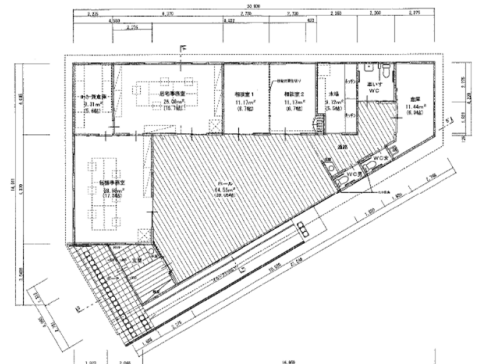
当該施設は、事業主体である同法人が運営している居宅介護支援事業所と地域包括支援センターを併設した福祉施設です。

介護相談に来所する家族やその他介護に関する関係者だけでなく、地域社会への貢献を考慮して、一般住民向けの各種教室が開催される施設となっています。

●配置計画について

入所すると、県内産のスギ材をふんだんに使用した大空間のホールが配置されており、来所した方々がスギ材のもつ清々しさとぬくもりを感じることができます。

また、ホール脇には、事務所エリアや個別相談に応じる相談室が2室配置されており、介護相談に訪れた来所者が安心して相談できるよう、配慮されています。



■建物情報

階数：地上1階
 構造：木造平屋建て
 小屋組方式：木造在来工法
 敷地面積：9,210.57 m²
 建築面積：207.36 m²
 延床面積：199.75 m²
 最高高さ：6.35 m
 最高軒高：2.70 m
 最大スパン：8.04 m
 耐火・準耐火：木造

■主要仕上

外部仕上
 (屋根) ガルバリウム鋼板
 (外壁) ガルバリウム鋼板
 (開口部) アルミ樹脂複合住宅サッシ、金属パネル
 (その他)
 内部仕上
 (床) ナラ材フローリング t=12mm
 (壁) 石膏ボード スギ板張り
 (天井) 石膏ボード スギ板張り
 (その他) 天井部：スギ組立梁

●木材使用について

梁・桁等の構造部には、県内産のスギ材を使用しています。

特に、梁部分には一般の規格のスギ材を鉄部材で接合する「木鉄ハイブリッド工法」を採用することで、県産材の新たな活用方法を提示するモデル的な建築物となっています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	47.2 m ³	47.2 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	1.8 m ³	m ³	
計	49.0 m ³	47.2 m ³	



ホール（個性的な形状を生かした空間）



組立梁の施工状況

●設計における工夫点等について

施設ホールには、一般的な規格のスギ材を鉄部材で接合して強度を高めた「木鉄ハイブリッド」の組立梁を使用しています。

大空間に使用される梁については、ベイマツやオウシュウアカマツ集成材が使用されることが多いですが、「木鉄ハイブリッド」の組立梁により、県産スギ材を活用した魅力的な大空間となっています。

また、収縮等の経年変化が予測されることから、ナットを増し締めできるように、あえて接合部分を表に出しています。

木材だけでなく、接合に使用している鉄部材についても、全て県内で作られている既製品を使用しており、施工やメンテナンスも含め、工法の普及にも配慮しています。



木鉄ハイブリッド工法による組立梁

■事業概要

事業内容：木造施設整備

発注者：社会福祉法人秋田県厚生協会

設計者：株式会社 間 建築設計事務所

施工者：株式会社足利工務店

木材供給：（スギ構造材等）（有）佐東製材所、

（株）ウッド・ミルほか

（原木供給） 秋田県森林組合連合会

事業名：新たな木質部材等需要創造先導事業

工期：平成29年10月～平成30年3月

設計管理費： 3,000千円

建設費：（建設費） 48,600千円

1㎡あたり建設費： 258千円

⑩ 児童養護施設 感恩講児童福祉院研修室

施設概要

事業主体：社会福祉法人感恩講
施設名称：感恩講児童福祉院研修室
所在地：秋田市寺内神屋敷2番1号

施設用途：児童福祉施設
用途地域：第1種低層専用区域
防火地域：—

【外観写真】



建物正面



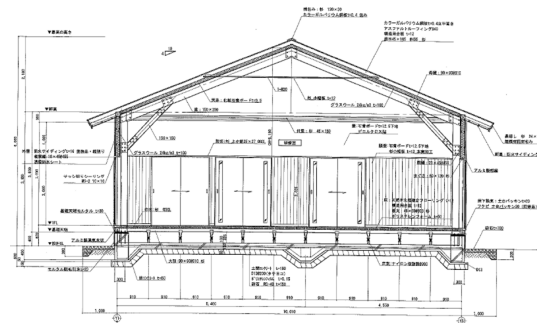
建物裏側

●施設の特徴、内容について

当施設は、事業主体である同法人が運営している感恩講児童福祉院で生活する児童が、学習や運動を行うための施設です。また、職員の会議・研修の場としても活用されています。
主な利用者である児童が、木が持つ温かみや柔らかさを感じることができるよう配慮されています。

●配置計画について

施設の利用者である児童が、学習や遊び場としてののびのびと利用できるよう、梁の引張部材を鉄筋にすることで、天井部分に大きな空間を作り出しています。



■建物情報

階数：地上1階
構造：木造平屋建て
小屋組方式：在来軸組工法
敷地面積：11,712 m²
建築面積：136.52m²
延床面積：127.52m²
最高高さ：6.08 m
最高軒高：3.90 m
最大スパン：10.01m
耐火・準耐火：その他

■主要仕上

外部仕上
（屋根）カラーガルバリウム鋼板 t=0.4
（外壁）防火サイディング t=16
（開口部）アルミ製住宅用玄関引戸
内部仕上
（床）天然木化粧複合フローリング t=12
（壁）ビニールクロス貼、石膏ボード
（天井）化粧石膏ボード
（その他）腰壁：杉小幅板 t=12

●木材使用について

梁・桁部分や壁面などに、県産スギ材を使用しています。

使用している木材の中には、施設に入所している子どもたちが毎年参加している森林・林業体験のフィールドから生産されたものもあります。



研修室の腰壁（スギ小幅板を使用）

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	23.94 m ³	23.94 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	2.90 m ³	m ³	
計	26.84 m ³	23.94 m ³	



天井部

●設計における工夫点等について

一般スギ材と鉄部材を組み合わせた「木鉄ハイブリッド」工法を採用しています。

合掌式の梁の引張部分を鉄筋にすることで、天井空間を広く取ることができ、施設利用者である児童がのびのびと過ごすことができます。

また、壁面を小幅板張りとするすることで、木の香りを感じ、触れることができる空間づくりに配慮しています。



小屋組方式による天井部



部材を鉄筋にすることで大空間を創出

■事業概要

事業内容：木造施設整備
 発注者：社会福祉法人感恩講
 設計者：株式会社小野建築研究所
 施工者：株式会社石川建設
 木材供給：（スギ構造材等）株式会社ウッド・ミル
 （原木供給） 仙北西森林組合

事業名：新たな木質部材等需要創出先導事業
 工期：平成30年1月～平成30年3月
 設計費：1,080千円
 建設費：21,384千円
 1㎡当たり建設費：176千円

トピック4 木づかい あきた

① 県産木製品の調達

秋田県では平成28年4月に施行した「秋田県木材利用促進条例」に基づき、木材の利用の推進に県全体で取り組むため、様々な施策を総合的に推進しています。

県では、県施設の木造化・木質化を行うほか、施設で使用される備品等についても県産木製品を調達する「木づかい」を行っています。

県産木製品の導入により、木のあたたかみやぬくもりなどの木の良さを感じることができる空間となっています。



平成30年にオープンした秋田港クルーズターミナルでは、秋田スギのほか、クリやサクラなどの広葉樹を使用した家具を設置しています。



パンフレットの架台などの什器や打合せテーブルについても県産木製品のものを使用し、訪れる方へ県産木材のPRを行っています。